

平和と民主主義をめざす全国交歓会  
杳澤 携帯:090-2720-2284  
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町8-8 パラマウント2F  
〒536-0016 大阪市城東区蒲生1丁目6-2 LAG センター内  
FAX:06-6934-8112

## 要請書

### 熊本地震をふまえ、川内原発の運転を直ちに停止してください

4月に起きた熊本地震について、気象庁や地震の専門家は「内陸型でM6.5級の地震の後に更に大きな地震が起きた前例がない」「離れた3か所で同時に地震活動が起きたケースは思い浮かばない。」と繰り返し述べています。

また、川内原発は中央構造線という大きな活断層の南端に位置しています。大地震が原発の直下で起これば、原発事故となるのは避けられません。

「国立研究開発法人 防災科学技術研究所」(防災科研)は、14日と16日の熊本地震を解析。観測された地震動のうち、上位10か所の数値を公表しています。14日の「前震」はマグニチュード6.5で震度7。

地震動(最大加速度)は最大の益城町で1580ガルを観測しました。次に高かった矢部でも669ガルです。

16日の本震はマグニチュード7.3で震度7、各地の地震動は、豊津612ガル～益城1362ガルでした。ほとんどの地点で川内原発の耐震基準の620ガルを超える数値を観測しています。

今回のような前震と本震が立て続けに起きた時に、原子炉や配管の森と呼ばれる格納庫内部の配管がほんとうに健全に保てるかどうかにも検証しなおす必要があります。

「運転中の原発は止まった瞬間から、福島と同じように崩壊解熱がどんどん出ていき、放射能レベルも非常に高い。間違いなく福島のような事故に至るリスクがある。しかし停止していればリスクは低い」ことを考えると、ただちに川内原発を停止すべきだと考えます。

熊本地震では多くの家屋が倒れ、道路が寸断され、高速道路が通行止めになり、新幹線も全車両脱線という事態になりました。多くの住民が家屋の倒壊を恐れ、屋外でテントや、車の中で避難生活する姿が伝えられています。

もしこのような状況で原発事故が起こったら、住民は被ばくせずに避難させることができるのでしょうか。

福島原発事故の教訓を活かし、今回の熊本地震の被害を踏まえ、川内原発の運転を即刻停止するよう、以下の通り要請します。

## 要請事項

1. 九州電力川内原発1・2号機の原子炉をただちに停止し、すべての配管の状態や建屋施設について点検し、結果を明らかにすること。
2. 九州電力玄海原発について、すべての配管の状態や建屋施設について点検し、結果を明らかにすること。